

作成日 2018年7月1日

# 安全データシート(SDS)

## 1 化学品及び会社情報

化学品等の名称	BKメンテ
会社名	墨東化成工業株式会社
住所	〒130-0025 東京都墨田区千歳一丁目8番14号
電話番号	03-3635-1111(代表)
推奨用途及び使用上の制限	アスファルト補修、コンクリート補修

## 2 危険有害性の要約

GHS分類	分類実施日	H27. 10. 31、政府向けGHS分類ガイダンス
	(物化危険性及び健康有害性)	(H25年度改定版 (ver1.1): JIS Z7252:2014準拠) を使用
		平成25年度改訂版を使用

### 健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
皮膚感作性	区分1
発がん性	区分1A
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1 (呼吸器系)(腎臓)
※記載が無いものは分類対象外又は分類できない	

### GHSラベル要素 絵表示



### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
発がんのおそれ。  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。  
呼吸器系の障害。  
長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害。

### 注意書き

#### 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
取扱後はよく手を洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

### 応急措置

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。  
皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。  
直ちに医師に連絡すること。  
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。  
特別な処置が必要である(このラベルの表示を見よ)。  
皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

### 保管 廃棄

施錠して保管すること。  
内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

### 他の危険有害性

データなし

### 3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物  
化学名または一般名 BKメンテ

化学特性・成分名	含有量(%)	CAS No
ポルトランドセメント (アスベストを含まず、結晶性シリカ< 1%)	20-40%	CAS 65997-15-1
結晶質-石英	50-70%	CAS 14808-60-7
結晶質シリカ (クリストバライト)		CAS 14464-46-1
添加剤	非公開	
カーボンブラック(アスファルト用のみ)	0-5%	CAS 1333-86-4

### 4 応急措置

**吸入した場合** 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
症状が続く場合には、医師に連絡すること。

**皮膚に付着した場合** 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

**眼に入った場合** 水で15~21分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

**飲み込んだ場合** 水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

**急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状** データなし。

**応急措置をする者の保護** 救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

**医師に対する特別な注意事項** データなし。

### 5 火災時の措置

**消火剤** この製品自体は、燃焼しない。  
周辺の状況や火災の状況に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤を使用する。

**使ってはならない消火剤** 火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

**特有の危険有害性** 火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

**特有の消火方法** 消火活動は風上から行う。  
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。  
危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
安全に対処できるならば着火源を除去すること。  
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

**消火を行う者の保護** 消火作業の際は、周辺火災に応じて適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

### 6 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置** 呼吸器への刺激のおそれ。  
関係者以外の立ち入りを禁止する。  
作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。  
個人用保護具:P1不活性粒子用フィルター付マスク。  
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

**環境に対する注意事項** 周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。  
下水に流してはならない。  
河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。  
環境中に放出してはならない。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材** 飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等できるだけ飛散発じんしないようにして、空容器等に回収する。  
取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。  
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。  
危険でなければ漏れを止める。  
すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。  
床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。  
水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。  
プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

## 7 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

## 技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

「9. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

## 安全取扱い注意事項

使用前に使用説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

粉じんを発生させないようにする。

作業環境管理を厳密に。保護手袋／保護衣／保護めがね／保護面を着用すること。

粉じんを発生させないようにする。

涼しい所に置き、日光を避けること。

粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

## 接触回避

酸、アルミニウム、金属、アンモニウム塩。

アルカリ性なので、酸性物質との接触を避ける。

「11. 安定性及び反応性」を参照。

## 衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

## 保管

## 安全な保管条件

保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。

直射日光を避け、冷暗所に保管する。

水と徐々に反応して硬化した水和物を形成、熱を発生し、強アルカリ溶液を精製する。

乾燥した場所に貯蔵する。容器を密閉して冷乾所にて保存すること。

涼しい所に置き、日光を避けること。

積荷とパレット間にすきまをあけること。

適切な量以上の大量品は、指定する温度を超えない温度で保管すること。

他の物質から離して保管すること。

施錠して保管すること。

## 安全な容器包装材料

破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

容器を密閉しておくこと。

## 8 ばく露防止及び保護措置

## 管理濃度

## 許容濃度

## ポルトランドセメント

## 管理濃度

未設定

## 許容濃度

(吸入性粉じん) 1 mg/m<sup>3</sup>

(総粉じん) 4 mg/m<sup>3</sup>

(第2種粉じん: ポートランドセメント)

## 結晶質-石英

## ACGIH (2015年版)

## 管理濃度

TLV-TWA: 1 mg/m<sup>3</sup> R (ポルトランドセメント)

## 許容濃度

E = 3.0 / (1.19Q + 1)

0.03 mg/m<sup>3</sup>

(吸入性結晶質シリカ)

## 結晶質シリカ

(クリストバライト)

## ACGIH (2015年版)

## 管理濃度

TLV-TWA: 0.025 mg/m<sup>3</sup> (呼吸性画分)

## 許容濃度

(結晶性シリカ、α-クォーツ及びクリストバライト)

E = 3.0 / (1.19Q + 1)

0.03 mg/m<sup>3</sup>

(吸入性結晶質シリカ)

## カーボンブラック

(アスファルト用のみ)

## ACGIH (2015年版)

## 管理濃度

TLV-TWA: 0.025 mg/m<sup>3</sup>

## 許容濃度

(結晶性シリカ、α-クォーツ及びクリストバライト)

E = 3.0 / (1.19Q + 1)

1 mg/m<sup>3</sup> (吸入性粉じん)

4 mg/m<sup>3</sup> (総粉じん)

(第2種粉じん: カーボンブラック)

## 設備対策

## ACGIH (2015年版)

TLV-TWA: 2 mg/m<sup>3</sup> (酸化カルシウム)

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

## 保護具

呼吸用保護具	粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。 必要に応じて適切な保護手袋を使用すること。
眼の保護具	眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。 必要に応じて個人用の眼の保護具を使用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。 必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。

## 9 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状 色 臭い 臭いのしきい(閾)値 pH	乾燥した顆粒、粉体、灰白色 灰白色 無臭(香りづけのバニラ臭がすることがある)
融点・凝固点		水と接触するとPH12-13 >1000℃
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		不燃性
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(相対密度)		データなし
溶解度		水:不溶
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		不燃性
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし

## 10 安定性及び反応性

反応性	通常の手扱い条件下では安定である。
化学的安定性	水と反応して安定固化する。
危険有害反応可能性	強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 強酸化剤、強酸、フッ化水素と反応する。
避けるべき条件	水及び湿気を避ける。
混触危険物質	強酸化剤、強酸、フッ化水素。
危険有害な分解生成物	データなし。

## 11 有害性情報

急性毒性	経口 経皮 吸入:ガス 吸入:蒸気 吸入:粉じん及びミスト	分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		区分1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		区分1
呼吸器感作性		分類できない
皮膚感作性		区分1
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性		区分1A
生殖毒性		区分1B
生殖毒性・授乳影響		分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分1 呼吸器系
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1 呼吸器系 腎臓
吸引性呼吸器有害性		分類対象外

## 12 環境影響情報

## 生態毒性

水生環境有害性（急性）	分類できない
水生環境有害性（長期間）	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

## 13 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

## 汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14 輸送上の注意

## 国際規制

該当しない

## 国内規制

該当しない

## 特別安全対策

転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う  
湿気、水濡れ厳禁

## 緊急時応急措置指針番号

該当しない

## 15 適用法令

## 労働安全衛生法

粉塵障害防止規則第2条 粉じん作業

## 化学物質管理促進法

該当しない

## 毒物及び劇物取締法

該当しない

## 消防法

該当しない

## 化審法

第8条第1項第3号に該当する一般物質

## 船舶安全法

該当しない

## 航空法

該当しない

## 海洋汚染防止法

該当しない

## 16 その他の情報

## &lt;引用文献&gt;

化管法SDS 標準的な書式(JIS Z7253対応版)

GHS混合物分類判定システム

政府向けGHS分類ガイダンス(H25年度改定版(ver1.1): JIS Z7252:2014準拠)

セメントメーカーSDS

珪石メーカーSDS